

**基本情報**

科目分類	専門科目	開講年次	2・3・4年
時間割コード	2H090	開講区分	第2クォーター
開講科目名	E S D演習I 2（国際人間科学）	曜日・時限	金5
主担当教員	松岡 広路	単位数	1.0
授業形態	演習	ナンバリングコード	H1HZ202

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■ 授業のテーマ</p> <p>（ESDコース修了認定科目）</p> <p>ESDとは、あらゆる人が互いに連携・協働しながら持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことです。</p> <p>ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。</p>
<p>■ 授業の到達目標</p> <p>ESD演習（国際人間科学）では、ESDがたち現れる仕掛けに、より丁寧にふれながら、あるいは、実際に仕掛けをつくりながら、活動に積極的に参加したり、実践をデザインしながら学ぶことの楽しさを知ってもらいます。</p> <p>ESDコースの他の科目とともに履修してもらうことで、ESDが立ち現れる仕掛けをつくる実践者（practitioner）としての「構え」（ESDに必要な価値・態度・技術）を、いったん身につけることを目的としています。</p>
<p>■ 授業の概要と計画</p> <p>第1Qで生まれたアイデアをアクションリサーチとして実践化するための方法をデザインしていきます。</p> <p>【授業の進め方（予定）】</p> <p>1回 デザイン創成ワークショップ1  2回 デザイン創成ワークショップ2  3回 デザイン創成ワークショップ3  4回 プレ調査  5回 プレ調査  6回 リフレクションワークショップ1  7回 リフレクションワークショップ2  8回 リフレクションワークショップ3</p> <p>※上述の内容は、状況に応じて変更する可能性があります。</p>
<p>■ 成績評価方法</p> <p>出席、授業への主体的な参加、レポートなど総合的に判断します。</p>
<p>■ 成績評価基準</p> <p>成績は90点以上をS（秀）、80点以上90点未満をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点</p>

未満をC（可）とする。

■履修上の注意（関連科目情報）

ESD演習Ⅰ-1（国際人間科学）と合わせて履修すること。また、ESD演習Ⅱ-1, 2も併せて履修することで大きな学習効果が期待される。

さらに、ESDコースの他の科目（ESD基礎A、ESDボランティア論、ESD生涯学習論A、ESD生涯学習論B、ESD論A、ESD論B、ESD基礎Bなど）を履修していることが望ましい。

■事前・事後学修

ワークショップの内容についての予復習と、そこで提示された課題をめぐる文献を検討しておくようにしましょう。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

■学生へのメッセージ

協働的にデザインしていくアクションリサーチの面白さを体感してください。

■教科書

「教科書」とは一体何かを考える授業にしたいものです。

■参考書・参考資料等

[被抑圧者の教育学 / パウロ・フレイレ : 亜紀書房, 2011, ISBN:4750511021](#)

■授業における使用言語

日本語

■キーワード

持続可能な開発 アクションリサーチ プラットフォーム創成実践 ワークショップ フィールドワーク

■参考URL

<https://esdplat.wixsite.com/will>

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymysys/student/yellow/esd/index.html>

## 担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科